

文学×女性×作家

#鹿児島的女性

「鹿児島近現代」連続トークイベント

女性作家を視座とした鹿児島近現代文学

鈴木優作特任助教

入退室
自由

7月2日(日)天文館図書館
13:30～

同時開催

文芸同好会Soraビブリオバトル
「ChatGPT VS 人間」書評対決 結果発表



鹿児島大学法文学部附属
「鹿児島近現代」教育研究センター

澤田成章ゼミ・文芸同好会Sora

「鹿児島近現代」教育研究センターとは

2022年10月に鹿児島大学法文学部に開所したセンターです。
明治維新以降の「近代」の鹿児島と、戦後の「現代」の鹿児島を対象として教育や研究をおこない
その成果を地域に還元することを目的としています。センターについての詳細はウェブサイトをご覧ください。

「鹿児島近現代」連続トークイベントとは

「鹿児島近現代」教育研究センターは、年間を通して1つのテーマについてのトークイベントを隔月で
開催します。2023年度のテーマは「#鹿児島近現代」です。連続トークイベントでは最新の研究成果について
ご参加頂く皆様との対話を重ねながら理解を深めることを試みます。

「#鹿児島近現代」

2023年度のテーマ「#鹿児島近現代」は以下のラインナップを予定しています。

2023年7月「文学×女性×作家—女性作家を視座とした鹿児島近現代文学」

9月「経済学×女性×外国人」(予定)

11月「人類学×女性×島」(予定)

2024年1月「教育学×女性×キャリア」(予定)

3月「歴史学×女性×丹下梅子」(予定)

日時や会場、テーマについての詳細は「鹿児島近現代」教育研究センターのウェブサイトでご案内します。

「文学×女性×作家—女性作家を視座とした鹿児島近現代文学」

鹿児島は、〈九州男児〉の語がよく似合う勇ましい男性的な文化がしばしばイメージされますが、
今回のトークは近現代文学の領域から鹿児島の女性文化を、改めて考え直す試みです。今回は西南戦争を
扱った小説を中心に扱い、池波正太郎や司馬遼太郎といった著名な男性歴史作家による叙述と、阿井景子など
女性作家の描写を取り上げ、従軍する男性ばかりでなく彼らを支えた女性たちに着目します。他にも鹿児島の
女性作家たちを取り上げます。鹿児島における女性の役割と文化を捉え直し、新しい〈薩摩おごじょ〉像を考える
きっかけになれば幸いです。



鈴木優作 特任助教(日本近現代文学)

鹿児島の近現代文学を研究。博士(文学)。著書に『探偵小説と〈狂気〉』(国書刊行会)、共著に『〈怪異〉とミステリ』、
論文に「狂気と価値——中井英夫「幻想博物館」論——」(『日本文学』2022年12月)、「ミステリにおける奇書の再考
——内在する〈狂い〉について」(『ユリイカ』2023年7月)など。

文芸同好会Sora ビブリオバトル

鹿児島大学の文芸同好会Sora。普段は学内で学生同士で交流しています。今回は「本の魅力を伝える」ことに
チャレンジするためビブリオバトルを行います。

「ChatGPT 対人間」書評対決 結果発表

近年、社会的に注目を集める「AI」。鹿児島大学法文学部の澤田成章ゼミと文芸同好会Soraが共同開催でAI
(ChatGPT4)と人間のブックレビュー対決を企画しました。同じ本に対してAIと人間がそれぞれ書評を書き
「どちらが心に刺さったか」「どちらのお薦めが読んでみたいと感じられるものだったか」について投票を
募りました。今回、この結果を発表します。

鹿児島大学法文学部附属「鹿児島近現代」教育研究センター

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-30 鹿児島大学郡元キャンパス 総合教育研究棟3F

TEL 099-285-7532

<https://kadai-kingendai.jp>